**遺　言　書**

　遺言者甲野太郎は、次のとおり、遺言をする。

１　遺言者は、長男・甲野一郎（昭和○年○月○日生）について、平成○年ころから遺言者に対し度々暴行を加える等の虐待をしていることから、相続人から廃除する。

２　遺言者の相続人は、妻・甲野花子（昭和○年○月○日生、以下「花子」という。）および長女・甲野松子（昭和○年○月○日生、以下「松子」という。）の２名である。

３　遺言者は、次の土地、建物および預貯金を妻・花子に相続させる。

　⑴　土地

　　　所在　　　○○区○○町○丁目

　　　地番　　　○番○

　　　地目　　　宅地

　　　地積　　　○○平方メートル

　⑵　建物

　　　所在　　　○○区○○町○丁目○番地

　　　家屋番号　○番○

　　　種類　　　居宅

　　　構造　　　○○

　　　床面積　　○○平方メートル

　⑶　預貯金

　　　○○銀行○○支店　普通預金

ⅰ　　口座番号　○○○○○○

　　　口座名義　遺言者

４　遺言者は、次の預貯金を長女・松子に相続させる。

　　　○○銀行○○支店　普通預金

　　　口座番号　○○○○○○

　　　口座名義　遺言者

５　遺言者は、前項までに記載した以外の相続財産が判明したときは、妻・花子に相続させる。

６　遺言者は、本遺言の遺言執行者として、次の者を指定する。

　　　住所　東京都○○市○○町○丁目○番○号

　　　職業　弁護士

　　　氏名　丙野守（昭和○年○月○日生）

令和○年○月○日

　　　　　　東京都○○区○○町○丁目○番○号

　　　　　　遺言者　　甲　野　太　郎　　　　　㊞